

# 関係審議会の動向と意見発信の状況

## 国の審議会における協会の主な発言（一部抜粋）

### 第419回 中医協 総会(R1.7.17開催)（出席:吉森理事）

**議題** 介護・障害者福祉サービス等と医療の連携の在り方について

**発言** 看護師が担える医療行為は限定的であり、訪問看護で在宅医療のすべてを完結できるわけではない。そこで、ICTを活用し、例えばオンライン診療・オンライン服薬指導など組み合わせることにより、患者の希望を叶えつつ、在宅医療を提供する医療側にとっても負担が少ない仕組みとすることなどは、在宅医療を推進する上で重要な視点であり、このような観点も含め、総合的に議論を進めることも必要ではないかと考える。

### 第420回 中医協 総会(R1.7.24開催)（出席:吉森理事）

**議題** 関係業界からの意見聴取について

**発言** 新薬創出等加算の企業要件については、新薬開発において一定の要件を満たしている企業に、特許期間中の薬価を維持することで、新薬の開発モチベーションを高め、革新的新薬の創出などを後押しすることを目的として設けられたと承知しており、企業要件の考え方を撤廃すべきではない。  
再生医療等製品の価格算定については、再生医療等製品の製造工程や流通のコスト構造の分析のためのエビデンスの集積を含め、新たな価格算定方式の検討に資する考え方を整理し、算定方式の在り方について、薬価算定組織及び薬価専門部会や中医協総会において、早急に議論を開始すべき。

## 国の審議会における協会の主な発言(一部抜粋)

### 第79回 介護保険部会(R1.7.26開催) (出席:安藤理事長)

**議題** 介護人材の確保等について

**発言** 色々な形で介護現場における離職率を低くするためには、休みを取りやすくする環境を整備する、介護ロボットやICTを導入する等、かなりの金額の投資が必要になることから、ある程度介護事業所の大規模化の検討も必要ではないか。  
また、介護現場で働く方の過半数が残業していないことを知らないという調査結果も出ていることから、介護現場の魅力に係る発信を強化していただくことが必要である。さらに、発信の効果がどの程度あったかを調査するとともに、介護現場で働く方からも、介護が魅力のある仕事であることを理解していただけるよう、働きかけをすべき。

### 第3回 一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会(R1.7.19開催) (出席:安藤理事長)

**議題** 中間とりまとめ骨子案について

**発言** 介護予防に関する総合事業実施効果の点検・評価をしている自治体は、約30%に留まっており、費用対効果による事業評価を行っている自治体は10%しかないため、事業実施効果の分析を強化すべき。

### 第1回 医療等情報の連携推進に向けた被保険者番号活用の仕組みに関する検討会(R1.7.31開催) (出席:藤井理事)

**議題** 仕組みの具体化に当たっての論点

**発言** NDBでは、現在でもハッシュIDを使って連結している。被保険者番号履歴を使えば、さらに精度は上がるだろうが、その精度が上がることで、何ができるのか。その差・相違について具体的に説明できるような資料の提出をお願いしたい。